

令和6年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰

被表彰校・園・図書館の取組状況

学 校	学校法人 聖母学園 善通寺聖母幼稚園
	<p>善通寺聖母幼稚園は、季節や行事にあった選書を行い、読み聞かせを日常化している。幼児の発達段階を考慮し、絵から受けるイメージだけでなく、「繰り返しのリズム」、「とんち」「方言」等、耳から入る言葉の面白さや温もりも大切にしている。日常の読み聞かせからの劇遊びへの発展、小学生や地域ボランティアとの読み聞かせを通じた触れ合い、地域図書館への訪問・活用等、様々な読書活動を推進している。</p> <p>また、読み聞かせや読書活動の重要性について、保護者理解が促進される機会を設け、保護者や地域・行政と連携して、子どもたちのための読書活動を支えている。</p>
	高松市立古高松小学校
	<p>高松市立古高松小学校は、司書教諭、学校図書館指導員、学級担任が連携しながら、児童の読書意欲を高めるための様々な読書推進活動を進めている。児童が自らの読書状況を捉えやすいように、一人一人が「読書通帳」と名付けられた読書記録を持っており、読書習慣の形成を図っている。また、年間2回の読書月間では、お薦め本を友達に葉書で送る「ゆうかり郵便」や、担任ではない教員が読み聞かせをする「お話ミックスジュース」等、工夫を凝らした様々な取組によって、読書への関心を高めている。図書委員会の児童も「おすすめ本案内所」の掲示で本を紹介したり、読書イベントで委員会作成の「本のしおり」を作成してプレゼントしたりと、全校児童の読書への興味・関心を高めることに貢献している。このような日々の活動の積み重ねが、学校図書館に自ら足を運び、様々なジャンルの本を選んで読む児童の姿につながっている。</p>
	三豊市立山本小学校
	<p>三豊市立山本小学校には、学校司書が週4日配置されており、選書や本の受け入れ、学校図書館の環境整備、授業で使用する資料の収集等について、学校司書を中心に改善を図っている。開校当初から、教育課程全体と関連付けた学校図書館利用年間計画を作成し、学習材を提供する学校図書館の働きや学校司書の専門性等を生かし、必要な情報を収集・選択する活動等、学校司書と密に連携を図りながら、子どもたちの学びの支援を行っている。</p> <p>また、積極的な学校図書館の活用を目指して、公立図書館との連携を図りながら、読書に親しむ活動を数多く設定している。</p>

<p style="text-align: center;">学 校</p>	<p style="text-align: center;">香川県立高松高等学校</p> <hr/> <p>香川県立高松高等学校では、「独立自主」の精神を貴び、読書活動においても図書委員が中核となって生徒が互いに高め合う文化が定着している。昭和35年に刊行が開始された図書館報「びぶりあ」では、図書委員による本の紹介が続けられ効果を上げている。教員による読書活動推進も、目を引く短期的な取組よりもむしろ、地道で継続的であること、生徒の自主性が発揮される場を設定すること、生徒の読書の楽しみや良本との出会いの喜びを大切にすることに重きが置かれ、生徒が自分に合った方法で読書活動に取り組めるような細やかな工夫が行われている。</p> <p>令和3年度からの2年間の実践研究においては、上記の基本理念を大切にしつつ多様な利用目的に対応できるよう学校図書館を整備するとともに、生徒自身が読書から得たものを互いに伝え合う読書推進活動を展開した。生徒が持つ、自分たち自身を成長させたいという思いを大切に、そのための重要な方法である読書に対する信頼を学校全体で深めていく取組は、推薦校の生徒の特性に適合した特色あるものであると考えられる。</p>
<p style="text-align: center;">図書館</p>	<p style="text-align: center;">香川県立図書館</p> <hr/> <p>香川県立図書館は、令和6年に新館開館30周年を迎える。開館以来、児童資料や中・高校生向けの資料の充実のほか、地域のボランティア団体と連携したおはなし会や「子ども読書まつり」をはじめ様々なイベントを開催し、読書に親しむ環境づくりに努めてきた。また、県の中核図書館として、地域の読み聞かせボランティアや市町立図書館職員、学校司書等の資質向上のための研修会の開催など人材育成に寄与してきた。</p> <p>児童資料団体貸出や学校で利用できる学級支援文庫の整備、中学生の職場体験の受入れや高校生のための講座の開催など、学校と連携した子どもの読書活動推進にも努めている。</p>